

# 令和 7 年度保護者アンケート

自由記述で寄せられたご意見・ご要望に対する回答

令和 8 年 1 月

苫小牧工業高等専門学校

本校に対する意見や要望に関して、53件の自由記述がありました。大まかではありますが、便宜的に以下の10の区分に整理し、それぞれの区分について、集約した意見の内容と本校としての回答を示します。なお、これ以外にも本校の教育や教員の対応について温かい感謝の言葉、また本校への期待のお言葉もいただいております。今後も、学生が工学の知識・技術や創造力、豊かな人間性を身につけて卒業できるよう取り組んで参ります。

## 1. 学習指導と支援体制、および教育課程について

**【ご意見の要約】** 科目の難易度に対するフォロー、授業規律、試験の公平性、進級基準の運用、および人間性を育む教育のあり方についてご意見をいただきました。

**【回答】** 本校のカリキュラムは、高学年で大学レベルの内容を含むため、低学年からの基礎力が非常に重要となります。

- 学習支援：** 社会に貢献する実践的エンジニアを育成するための本校のカリキュラムは、高学年になると大学レベルの学習内容も入るため、低学年からの基礎力が大切になります。教員は普段から教え方の工夫や授業外での対応などを心掛けておりますが、「勉強が難しい」と感じる学生に対し、教員間で状況を共有し、丁寧な指導を心がけます。また、放課後に4・5年生が低学年を支える「ピアサポート」や、教員が質問を受け付ける「オフィスアワー」を設けておりますので、ぜひ積極的に利用するよう学生へ改めて周知します。
- 公平な評価：** 試験内容や評価については、学生の学習成果を公平に判断できるよう努めてまいります。
- 教育理念：** 知識・技術の習得のみならず、創造力や豊かな人間性を身につけて卒業できるよう、組織的に取り組んでまいります。

## 2. 保護者懇談会および進路説明会の運営について

**【ご意見の要約】** 進路説明会の早期実施や資料配布、オンライン配信についてご要望をいただきました。

**【回答】** 保護者懇談会は、ご家庭と学校での様子を共有できる貴重な機会と考えております。

- 運営の改善：** 進路説明会の実施方法や資料配布、オンライン活用などのご提案については、より有益なものになるよう今後検討させていただきます。

## 3. 学生への生活指導と情報公開について

**【ご意見の要約】** 学生の不祥事に対する不安、情報公開の基準、および学生のマナーや規範意識の向上を求める声をいただきました。

**【回答】** 学生の安全と健全な育成は本校の最優先事項です。

- 情報公開：** 重大な事案が発生した際は、個人情報保護の観点を踏まえつつ、再発防止と注意喚起のために速やかな情報共有に努めます。保護者の皆様の安心に繋がるよう、発信のあり方を検討いたします。
- 指導体制：** 飲酒・喫煙、マナー違反については、事実確認に基づき厳正に対処しております。低学年からの倫理教育を強化し、他者への思いやりを持った行動ができるよう、教職員一丸となって指導に当たります。ご家庭におかれましても、規範意識の定着へのご協力をお願い申し上げます。

#### 4. 通学バスの運行について

**【ご意見の要約】** バス料金の適正さ、試験・行事時の増便・時間調整、および千歳駅発着の再開や安全面でのご要望をいただきました。

**【回答】** 通学環境の整備は重要な課題と認識しております。

- 料金・運行体制：** 昨今の燃料費高騰や、バス業界の運転手不足や労働時間制限の影響により、柔軟な増便や料金維持が非常に厳しい状況にあります。しかし、試験・行事等の利便性向上については、運行会社と協議を重ねてまいります。
- 発着場所：** 千歳駅周辺は大型車両の乗降場所の確保が困難なため、現在は南千歳駅を利用しております。千歳市には要望を伝え協議を継続しているところです。

#### 5. 高専祭の運営について

**【ご意見の要約】** ホームページでの情報発信の遅れ、開催時期、およびステージ企画における表現の適切さについてご指摘をいただきました。

**【回答】** 高専祭を楽しみにしてくださっている皆様に、ご心配と不快な思いをさせてしまい深くお詫び申し上げます。

- 情報発信：** 今後はできるだけ早く詳細なプログラムを公開できるよう運用を改善します。
- 企画の質：** ステージ企画での不適切な表現については重く受け止めております。学生の自主性を尊重しつつも、教育機関として、また多様な来場者が集う場として、現代の社会基準

に照らし合わせた適切な指導をいたします。

- **開催時期：** 学事日程との兼ね合いでの調整は容易ではありませんが、今後の検討課題とさせていただきます。

## 6. 学生生活・課外活動・校則について

**【ご意見の要約】** クラブ活動への支援、外部指導者の導入、および頭髪・化粧などの服装規定に関する規制強化のご要望をいただきました。

### 【回答】

- **クラブ支援：** 学生会費を通じた物品補助を行っておりますが、個人所有物の負担についてはご理解いただけますと幸いです。指導者については、外部コーチの招聘することが可能であることを周知しています。
- **自由と自律：** 本校は「自主自律」を理念とし、高等教育機関として学生の判断を尊重しています。しかし、その「自由」には責任が伴うことを教えるのも教育の責務です。実験・実習時の安全確保や、社会人として相応しい身だしなみについては、折に触れて指導しております。

## 7. 学生寮の住環境（給水・暖房設備）について

**【ご意見の要約】** 寮における頻繁な断水への不満と、居室の暖房温度を個別に微調整できないことによる不便さについて改善を求める声をいただきました。

**【回答】** 親元を離れて生活する学生たちにとって、寮は心身を休める大切な場所であり、その住環境の維持・向上は重要な責務と認識しております。

- **給水設備：** 断水により学生に不便を強いている状況を重く受け止めております。現在、水圧の調整による消費量の抑制などの応急措置を講じておりますが、根本的な解決には貯水タンクの容量拡大や導水管の交換といった大規模な改修工事が必要です。これには多額の予算を要するため、速やかな実施が難しいのが現状ですが、学生の生活インフラを守る最優先課題の一つとして、国への予算申請や計画的な設備更新に向けて引き続き検討を重ねてまいります。
- **暖房設備：** 本校の寮では蒸気ボイラーによるセントラルヒーティング方式を採用しております。構造上、各居室のバルブ開閉による調整は可能ですが、家庭用のエアコンのような細かな温度設定が難しいのが実情です。システム全体の老朽化への対応も含め、学生がより快

適に冬期を過ごせるよう、適切な運用管理に努めるとともに、将来的な設備更新の際には利便性の高いシステムの導入を検討材料に含めてまいります。

## 8. 教室・学生寮への冷房設備（エアコン）設置

**【ご意見の要約】** 近年の酷暑に伴う熱中症のリスクを懸念し、教室や寮へのエアコン設置を早急に進めてほしいとのご要望をいただきました。

**【回答】** 学生の健康と学習効率に直結する重要な課題であると認識しております。

- **設置計画の推進：** 現在、高専機構本部に対し、優先的な予算要望を継続的に行っております。予算額が大きくなるため、全教室への整備完了までには一定の時間をする見込みですが、順次整備を進めていく計画です。
- **当面の対策：** エアコン設置までの期間においても、扇風機やサーキュレーターの増設、水分補給の推奨など、熱中症対策を徹底し、学生が安全に学習・生活できる環境を最優先に確保いたします。

## 9. 担任指導および学校の対応体制について

**【ご意見の要約】** 担任教員による指導のあり方や、学生・保護者への対応における一貫性、および誠実な対応を求める切実なご指摘をいただきました。

**【回答】** 教職員の対応は学校運営の根幹であり、皆様からの信頼を損なうような事態を招いたことを深く反省しております。組織として以下の3点を柱に、指導体制の抜本的な改善と信頼回復に努めます。

- **当該教員への指導と意識改革：** ご指摘いただいた事案については、学校として速やかに事実確認を行い、該当する教員に対して厳正な指導を実施いたしました。教員としての職務責任を再認識させるとともに、学生や保護者の皆様との適切なコミュニケーションのあり方について改善を徹底させております。
- **全教職員を対象とした研修の強化：** 今回の件を全校の課題として共有し、具体的な事例に基づいたケーススタディ研修を実施します。「指導の一貫性」と「傾聴の姿勢」を重点項目とし、トラブル発生時の迅速かつ丁寧な情報共有ができるよう、教職員一人ひとりの対応能力を組織的に底上げいたします。
- **「チームによる支援」と相談窓口の拡充：** クラス運営を担任一人の判断に委ねるのではなく、系長や学年団、学生相談室などが密に連携し、チームとして学生をサポートする体制を

強化します。また、担任には直接伝えにくい不安やご意見を柔軟に受け止められるよう、相談窓口の所在を改めて明確化し、皆様が安心して声を届けられる環境を整えてまいります。

## 10. 情報発信の迅速化とウェブサイトの利便性向上

**【ご意見の要約】** 情報発信の遅さや頻度の少なさ、ウェブサイトの情報の探しにくさ（特に就職状況など）、および寮生を持つ保護者への情報共有不足について、厳しいご指摘をいただきました。

**【回答】** 保護者の皆様との情報共有が質・量ともに不足している現状を真摯に受け止め、ICTを活用した抜本的な改善に取り組みます。

- **ウェブサイトの構造改革：** 「見栄えは良いが、必要な情報にたどり着けない」という課題に対し、ウェブサイトの構成の見直しを進めてまいります。就職・進学実績などの重要データをより直感的に確認できるよう、アクセシビリティを改善いたします。
- **学年・状況に応じた連絡体制：** 特に1～3年生の保護者の皆様には、学生経由の伝達漏れを防ぐため、学校から直接情報を届けるシステム（ブラストメール）の活用を強化します。
- **学校生活の「可視化」：** 遠方の保護者様にも安心していただけるよう、授業風景や寮での日常、行事の様子などをお伝えするよう心がけます。